新春特別対談 正橋正一富山市長に聞く。

松川べりを中心に 市民が憩える街づくりを。

●聞き手 / 中村孝一
（月刊グッドラックとやま 発行人・編集長）

▶就任以来六年目を迎える正橋市長。市民の声を反映する市政、市民の立場に立った市政を遂行。明るい街づくりを目指す。

◀新市庁舎完成予想図。シンボルである70メートルの塔は〝飛躍〟の意。

中村　新市庁舎も、いよいよ型どられてきましたね。設計士の方に伺ったところ、設計にかかる前の環境調査に富山に来た時、遊覧船が浮ぶ松川の景観の美しさに、インスピレーションを受け、同じ水辺に建つスウェーデンのストックホルムの市庁舎のデザインを参考に、設計されたそうですね。ちょうど、昨年完成した東京都庁がパリのセーヌ川沿いに建つ、ノートルダム寺院をモデルにしたように―。大変夢のあるエピソードですね。

新庁舎好立地 冴える英断

正橋　私どもは、設計にあたって、「わかりやすい」「待たせない」「一歩かせない」を念頭に、何度も検討を重ねてきました。〝開かれた施設〟として、市民の皆さんが利用できることを重視する意見が大変多かったんですね。また立地場所についても、「市庁舎建設計画懇話会」を設置いたしまして、各界の代表者の方々のご提言をいただき、市議会とも協議し、現在地に決定いたしたところです。新市庁舎は8階建てですが、そのシンボルとなる塔の70メートルまで、エレベーターで昇れますので、市街地をはじめ、立山連峰の眺望がすばらしいと思います。塔にしたのは、庁舎そのものをあまり高くするのはいかがなものかと考え、周辺の調和にも配慮いたしました。やはり景観というものを大切にしなければなりませんからね。

中村　新市庁舎は南向きで、松川に向くことになるんですね。

正橋　そうなんです。私も全国の県庁や県庁所在都市の市庁舎を、大分承知しておりますが、川辺りに建つ市庁舎というのは珍らしいですね。

富山市制百周年に、姉妹都市を結んだアメリカのダーラム市から、昨年の春、国立環境衛生科学研究所の所長さんが学会で富山を訪れられた際、「富山の街はワシントン市に似ている。自然や緑が多く、あまり高い建築物がなく、いい街ですね」とおっしゃったんです。私もワシントンへ行ったことがありますが、確かに緑も多く美しい街ですね。公園も広く、自然の大切さを改めて認識すると同時に、都市における環境整備の重要性を痛感しました。新庁舎は、松川に面し、城址公園も非常に良くみえるようになります。

中村　富山市は「水と緑と文化の街」をキャッチフレーズに掲げていますが、さっそく「水」について、市長さんの御意見をお伺いしていきたいと思います。先日の県議会でも、富山のイメージについて、中沖知事は「富山は水。水のイメージを育てていきたい」と答えていらっしゃいましたね。

川を中心とする 富山の歴史

正橋　まさに、富山県、富山市ともに水とは縁が深いわけです。かつて、吉田元知事が雪のことを「白いダイヤ」とおっしゃったそうですが、県の70％を占める山岳地帯に降る雪が、融けて河川に流れる。県内には、大小合わせて309河川がある、といわれています。

明治16年に、富山が石川県から分県した頃、地域住民は、随分河川に苦しめられたといわれています。当時は農業が中心でしたが、昔から「川を制する者は国を制す」とまで言われていた時代ですね。その後、我々の先人の努力によって、水害は減り「災い転じて福となす」のた

㈱朝日印刷紙器

越路銘菓
とこなつ
本舗 大野屋
高岡・富山・金沢

とえの通り、水力発電が盛んになり、工業が盛んになってきたわけですね。そして、それが雇用の拡大につながり、県民所得の増大につながってきた訳ですね。

中村　都市景観の時代に入り、その水資源を、今度はどのように景観の向上に利用していくかが我々の責務ですね。

川の浄化推進

正橋　そういう意味でも、私は川の浄化を、もっともっと進めていかねばならない、と常々思っております。毎年「川をきれいにする運動」なども行っているんですが、川にはごみを流さないよう、ぜひ市民の皆さんに協力していただきたいと思っています。河川の浄化は、行政だけではできないんです。私も、毎朝、松川を通るたびに、ごみが多くて、思わず自分の手ですくいあげてやりたいと思うくらいです。そして、この水資源は有効に利用していかなければならないと思います。

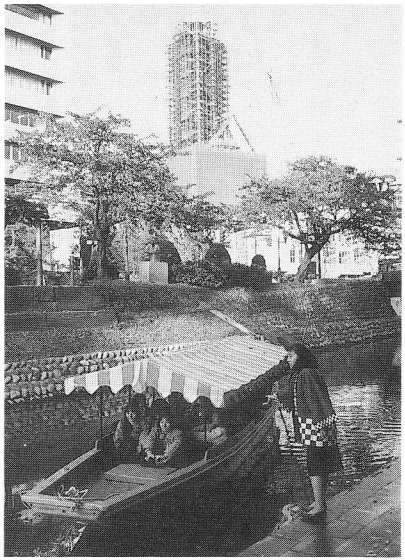
中村　松川に限って調べてみますと、松川の水を浄化するために、土川に風船ダムを設置して、毎秒2トンの取り水を確保されるようになったのですが、水門にごみがつまって松川に水が入らないんです。それで、建設省にお願いしましたら、ダムの前にスクリーンを設置され、随分良くはなったんですが、肝心のダムが洪水でつぶれた後、起立させる方の管理がうまくいっていなくて、水が入ってこない日があるんです。また、松川に流入する他の3河川からのごみが多く、まだまだ美しい川とはいえません。

　ところで、川の浄化に関連して、市長さんは就任以来、下水道事業に随分ご尽力なさっておられますね。

正橋　私が市長に就任したのは昭和六十一年の春ですが、当時下水道普及率は32%でしたが、現在は46%までアップしております。実は、下水道事業は大変お金のかかる事業でありまして、毎年130億円のお金をかけております。下水道の普及は当然のことながら、この事業は川の浄化にもつながります。私はお金はかかりますが、下水道事業は、今のうちにやっておかなければ取り返しのつかないことになる、と思っております。

中村　見えない場所に、一番お金がかかるんですよね。

正橋　松川は、富山市のシンボルですから、松川辺りの整備につきましては、担当課にやかましく言って、除草やごみの清掃などしっかりやってもらってい



◀水の都を象徴する遊覧船の運行する松川。川面から見る市庁舎は、どんなにすばらしいことだろう。

るんです。

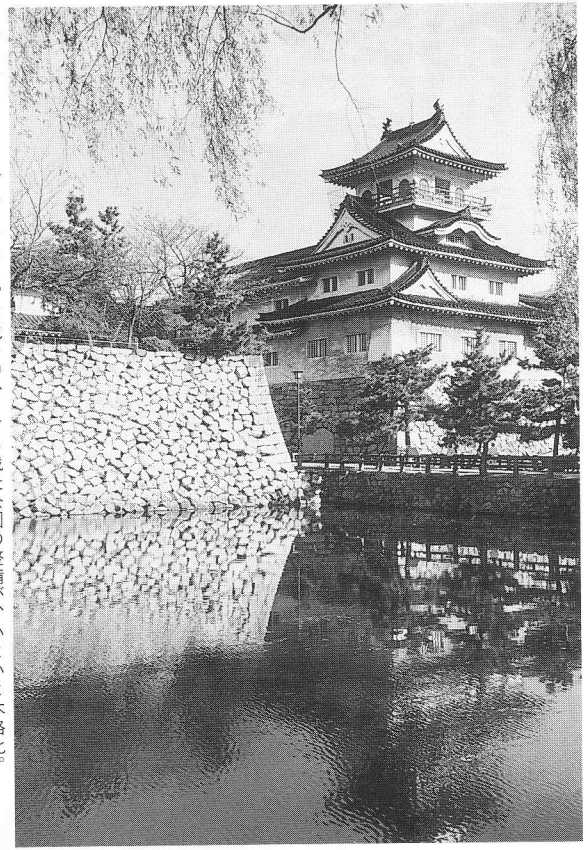
中村　なるほど。松川辺りの土手が、最近とてもきれいになってきた、と市民や観光客も喜んでいますね。

自然を大切に明るい街づくり

正橋　私は水と緑などの自然を大切にしていきたい、と同時に明るくにぎわいのある街づくりの実現に努力してまいりたいと考えています。これから冬にかけて、北陸は特に日照時間が減り、生活そのものが暗い感じになりますからね。駅周辺をはじめ、松川辺り、城址大通り、城址公園など、ライトアップを行い、明るくしてきているつもりです。

中村　なる程ね。では次に「緑」に関して、話を進めていきたいと思います。一昨年の県議会で、城址公園の日本庭園化に関する議員の質問に対し、中沖知事は「日本庭園は、富山の優れた自然美が生かされるものだと思う。既存の都市公園を含め、どんなものが可能か研究していきたい」と答弁されています。また、昨年二月の定例市議会において、市長さんも、同様の質問に対して、「市民、議会の意見を聞き、検討したい」と答えられていますが……。

正橋　実は今、この問題に関する市民の意見を知るため、アンケート調査を実施しているんです。来月、その結果が出ますので、私はそれを充分に参考にして、できれば有識者の意見を取り入れ、検討していきたいと



▶「荒城の月」のモデルとなった富山城を中心とする城址公園の整備が、いよいよ本格化。

日本医薬品工業㈱

思っています。

中村　今年5月に、私どもの街づくりキャンペーンの中で、富山市議会自民党議員会のメンバーによって、「城址公園を考える会」が発足しております。これを受け、「城址公園を、ぜひ日本庭園に」と望む市民側の意見を反映する「城址公園整備懇話会」が、今月末に発足いたします。（11月28日設立総会が開催された）私どもは、この会に市民の声をすいあげ、自由な発想でいろいろと意見を交歓し、市長さんに提案させていただくための受け皿にしていきたい、と思っているんです。

各界の意見を反映した公園

正橋　城址公園は、富山駅から歩いても数分位で行ける場所ですし、街の中心地区にあって、かけがえのない空間ですから、もっとよい活用法を考えていきたいですね。城址公園については、いろいろ意見もあるようですが、ご案内のように周囲の施設も老朽化してきていますので、市の内部でもその在り方について、勉強しているところです。公会堂やその周辺も含め、お堀端を整備し、ちょうど皇居前のようにしたい、というのが私の気持ちなんです。市民の皆さんの意見や関係者とも相談しながら、立派な公園にしてまいりたいと考えています。

伝統的な風格のある街

中村　おっしゃる通りですね。富山城址がその歴史を生かして整備されてくれば、〝風格のある街〟にしたい、という市長さんの永年の夢も現実に近づいてきますね。

先立って、北電の森本会長にインタビューした際、「文化と伝統を基に築かれた街はすばらしいですね」とおっしゃっておられました。富山市は、46年前の戦災で歴史的な建造物をほとんど失ってしまいましたけど、富山城を中心に城下町として発展してきた、という街の歴史まで消し去ることはできなかったんですね。私たちが今日にする石垣やお堀は、まさにピラミッドのように富山城がたどった昔の栄枯を物語っているわけですしね。

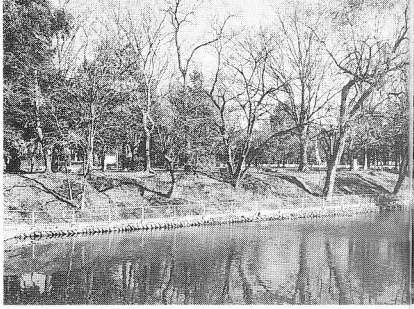
私は、滝廉太郎が7才から8才までの2年間を、富山城址で過ごしていたことを知り、研究を進めていくうちに、日本を代表する名曲「荒城の月」は富山城をモデルに作曲されている、という確信を得、誌面にその研究結果を発表させていただいたんです。このニュースは共同通信社を通じて、全国に報道され、その後、小学館も百科辞典への掲載を決定したんですよ。このことは、富山市が、文化の街づくりを推し進める中で、その歴史と伝統の中に、日本を代表する音楽家を育くむ土壌をもっていることを証明したわけで、街の貴重な財産を発見したともいえます。現在、進められている桐朋大学の誘致も含め、富山が〝音楽の街〟として、よりイメージアップが図られると思いますね。

文化芸術都市の実現

正橋　桐朋大学の誘致が実現す

◀富山城のたどった〝栄枯盛衰〟の歴史を今に伝える石垣は、富山市の貴重な財産。

お堀端を整備し、皇居前のようにしたい…と語る富山市長。▶

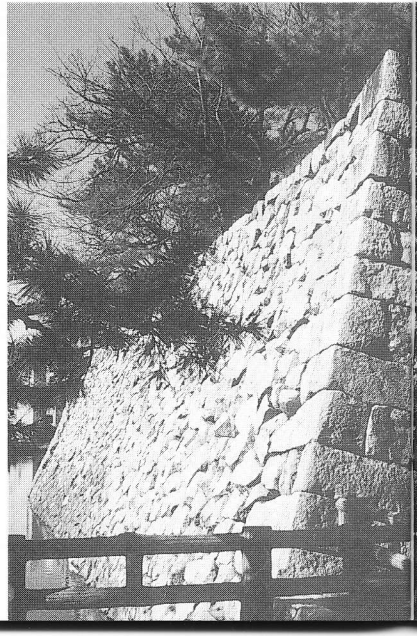


れば、芸術文化の振興はもとより、街の活性化、若者の定着にもつながり、富山市全体のイメージアップにも大きく寄与することができます。先日もたまたま東京への出張の帰途、ある企業の社長さんにお会いした際に、水戸にできた芸術館で開催された催物を見てこられて、ひどく感心されていました。

以前は東京など大都市でしか観劇できないものでも、施設が立派に整備されれば地方都市でも開催できるようになってきました。

富山市でも音楽ホールなどを整備して文化芸術都市づくりの実現に努めてまいりたいと思っています。

中村　富山市もおもいきりお金をかけて、城址公園を「荒城の月」誕生のロマンを秘めた平成の日本庭園に造成し、「文化都市・富山のシンボル」として、また「富山の新しい観光拠点」にしたらと思います。



城址公園の整備は、街を愛し、街に誇りをもつ市民を一層勇気づけると共に、今後富山市が中核都市として生き残っていくための重要課題かと考えます。今後共、市長さんが考えられる〝風格ある街〟づくりに向けて、市民の英知を結集していきたいと思いますので、よろしくお願い致します。本日は貴重な御意見本当に、ありがとうございました。

サクラパックス㈱